

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 53番
- *交読文 17番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 175番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 330番
- メッセージ ロトの妻と娘たち(創世記 19:23-38)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 464番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

わたしはぶどうの木、___はその枝である。もし___がわたしにつながっており、またわたしが___とつながっておれば、___は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、___は何一つできないからである。・・・

___がわたしにつながっており、わたしの言葉が___にとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。___が実を豊かに結び、そしてわたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。父がわたしを愛されたように、わたしも___を愛したのである。わたしの愛のうちにいなさい。もしわたしのいましめを守るならば、___はわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。(ヨハネ 15:5-10)

ソドムが滅ぼされる前夜、町に残って滅びが確定してしまった者もいれば、主の憐れみ故に、何とか逃げ出した者もいた。ロトと共に何とか脱出した、ロトの妻と、彼の二人の娘について見て行きたい。ロトがツォアルに着いた時、主はソドムとゴモラに硫黄の火を降らせ、滅ぼされた。「ロトの妻はうしろを顧みたので塩の柱になった。」(創世記 19:26) この「うしろを顧みた」の言葉は「後ろを向く+見る」で、「見る(nawbat)」の原意はスキャンする、すなわち注意し没頭して見る事の意味である。彼女は、立ち止まったり振り向いたりしてはならないと命じられていたにもかかわらず、立ち止まって、町が滅んで行く様をじっくりと見入ったため、滅びが彼女に追いついてしまったのである。彼女は、主が滅ぼすと定めた町の中にある家財や栄華、そこで暮らした向きに、未練があったようである。「ロトの妻のことを思い出さない。自分の「命(ブシユケ:思い、意思、感情)」を生かそうと努める者は、それを失い、それを失う者は、かえって保つのである。」(ルカ 17:31-33) 私達は、滅ぼすべき罪深き思い、意志、感情は、後ろに投げ遣り、未練を残して振り返ってはならない。ロトの妻は「脱出元」であるソドムに見入って、塩の柱となって取り残されてしまったように、出エジプトした民も、「脱出元」のエジプトを懐かしんだ結果、荒野で屍となって取り残されてしまった。同じように私達も、滅び行くべき「脱出元」に振り向いて目を留め続けるなら、そこに固められ、置いてけぼりにされてしまう。私達は、『うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。』(ピリピ 3:14-15)

「ロトはゾアルを出て上り、二人の娘と共に山に住んだ。ゾアルに住むのを恐れたからである。彼は二人の娘と共に、ほら穴の中に住んだ。」(創世記 19:30) 罪深き低地の町々に懲りたロトは、今度は世俗から離れ生活するのが良いと思ったのか、娘二人を世から引き離し、家族のみで暮らした。子供は育つにつれ、当然、生殖本能が芽生えてくる。それを強制的に世から隔離させる結果、何が起こったか。彼女達は、父親に酒を飲ませて眠らせ、父と寝て、子孫を残す、という行動に出してしまった。信仰者が御言葉に基を置かず、「自分の良かれ」で判断して、安易に世と隔絶し、ただ強制的に「異性と引き合わせない」事で子供達を守ろうとするなら、ロトの娘達のように、性の対象としてはならないものを、性の対象とし、歪んだ性へのあこがれが育ってしまう。そしてその営みには、愛も、合意も、喜びも無く、ただの機能的な、あるいは、快楽を追求するのみの行為へと、成り下がってしまう。大切な事は、世から引き離す事ではなく、キリストへ繋げる事である。そしてキリスト者は、自分のよかれによってではなく、御言葉によって子育てすべきなのだ。『若い人はどうしておのが道を清く保つ事ができるでしょうか。御言葉に従って、それを守るより他にありません。』(詩篇 119:9) エベソ五章には、妻たる者・夫たる者のあり方が記されてある。「人は父母を離れてその妻と結ばれ、ふたりの者は一体となるべきである。」(31節) つまり、ロトの方法とは逆で、まずは親から自立するのだ。親に頼らずに自活して生きる「自立」と同時に、霊的な自立をこそ、目指すべきである。すなわち、肉の親からの世的な思想から離れ、霊の夫であるキリストへと繋がりを、自ら御言葉に聞き、記されている事を守り行うよう努力し、また聖霊に導かれて歩む術を身に着ける事を目指すのだ。

『姉嬢は子を産み、その名をモアブ(父親より)と名づけた。これは今のモアブびとの先祖である。妹もまた子を産んで、その名をベニアンミ(私の肉親の子)と名づけた。これは今のアンモンびとの先祖である。』父によってみごもる事に、夫婦の喜びは無いし、神の民が聞いても世の人が聞いても、恥でしかない。しかし、いかにそのようにして生まれた子であろうと、どんな血筋の人であろうと、全能者である主の御翼の陰に助けを求める人に、主は恵みを施される。事実、全能者の翼に助けを求めたルツは、モアブの娘だ。キリストを信じた者は、全く新しく生まれ「た」のであり、以前のものは全て過ぎ去「た」のだ。自分がいかに、血統的に恥ずかしい血筋であろうと、また、どんな呪いに結ばれていようとも、キリストを信じる者は、以前の自分は死んだ者、神によって新しく生まれた者なのだ。(ヨハネ 1:12-13) ロトのように、見える所に流されて右往左往する信仰ではなく、アブラハムのように、しっかりと御言葉に根を下ろした信仰生活を送る皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

